



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 小西 二郎

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,566	35.9	710		544		475	
2020年3月期第1四半期	18,039	6.7	392	69.9	361	77.2	39	95.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 822百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 489百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	40.56	
2020年3月期第1四半期	3.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	121,894	54,571	44.0
2020年3月期	125,393	55,569	43.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 53,630百万円 2020年3月期 54,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	31,000	26.0	1,100		1,100		1,000		85.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を適正かつ合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とし、今後、算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	11,743,587 株	2020年3月期	11,743,587 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	26,022 株	2020年3月期	26,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	11,717,565 株	2020年3月期1Q	11,717,709 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、政府が緊急事態宣言を発出し、外出自粛や休業を通じて企業活動が制約され、景気は急速に悪化し、厳しい状況となりました。また、緊急事態宣言解除後も景気回復の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続いております。海外も新型コロナウイルス感染症が世界的な規模で拡大し、各国の都市封鎖により企業活動が大きく制約されました。中国では経済活動の再開により一部で回復が見られたものの、米国や欧州では景気の悪化により消費が減速し、各国の経済に深刻な影響を及ぼしています。

このような状況下、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として、時差通勤や在宅勤務などを取り入れ、従業員及び関係者の健康と安全を守ることを最優先とし、企業活動を行っております。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、十分な営業活動・生産活動が行えず、出荷量及び生産量が落ち込む厳しい状況となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で各市場での需要減少により、当第1四半期連結累計期間の売上高は115億6千6百万円(前年同期比64.1%)となり、前年同期を大幅に下回りました。損益につきましては、営業損失は7億1千万円(前年同期は営業利益3億9千2百万円)、経常損失は5億4千4百万円(前年同期は経常利益3億6千1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億7千5百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3千9百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① 日本

国内向け建設用クレーンは、新型コロナウイルス感染症の影響で設備投資意欲に歯止めがかかり、需要が減少し売上高は大幅に減少しました。海外向けの建設用クレーンは、台湾、インドネシアへの輸出が増加したものの、売上高は前年並みとなりました。油圧ショベル等は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で一部現場の停止や延期などによる先行き不透明感から購入意欲の減退、また営業活動の制約により油圧ショベル等の売上高は大幅に減少しました。よって、日本の売上高は98億4千3百万円(前年同期比65.9%)となり、セグメント損失は8億5千9百万円(前年同期はセグメント損失2億6千1百万円)となりました。

② 中国

中国の油圧ショベル等は、新型コロナウイルス感染症の影響で都市封鎖されていましたが、経済活動の再開により一部で回復が見られたものの需要が減少し、売上高は大幅に減少しました。売上高は16億9千2百万円(前年同期比53.0%)となり、セグメント利益は2億3千1百万円(前年同期比34.0%)となりました。

③ その他

その他は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動及び生産活動が停滞したことで売上高は大幅に減少しました。よって、その他の売上高は6億2千8百万円(前年同期比65.3%)となり、セグメント損失は1億1千6百万円(前年同期はセグメント損失1億6千8百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内は、新型コロナウイルス感染症の影響で中古市場の動きが鈍く、設備投資意欲に歯止めがかかり、需要は減少しました。国内建設用クレーンの売上高は53億9千9百万円(前年同期比59.0%)となりました。海外は、台湾やインドネシアへの輸出は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で全体の売上高は前年並みとなりました。海外建設用クレーンの売上高は9億6千2百万円(前年同期比98.6%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は63億6千1百万円(前年同期比62.8%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で一部現場の停止や延期などによる先行き不透明感や、中古市場の低迷による新車購入意欲の減退により需要が大幅に減少しました。国内油圧ショベル等の売上高は 21 億 4 千 3 百万円(前年同期比 76.3%)となりました。海外では、中国は新型コロナウイルス感染症の影響で都市封鎖されていましたが、経済活動の再開により一部で回復が見られたものの需要が大幅に減少しました。また、ヨーロッパにおいても新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動及び生産活動が停滞したことで売上高は大幅に減少しました。海外油圧ショベル等の売上高は 29 億 1 千 7 百万円(前年同期比 60.6%)となりました。よって、油圧ショベル等の売上高は 50 億 6 千万円(前年同期比 66.4%)となりました。

③ その他

その他の売上高は 1 億 4 千 3 百万円(前年同期比 50.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の 1,253 億 9 千 3 百万円に比べて 34 億 9 千 9 百万円減少し、1,218 億 9 千 4 百万円となりました。これは主として、たな卸資産の増加 34 億 2 千 5 百万円、現金及び預金の増加 22 億 6 千 7 百万円と受取手形及び売掛金の減少 94 億 1 千 1 百万円、有形固定資産の減少 5 億 6 千 9 百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第 1 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末の 698 億 2 千 4 百万円に比べ 25 億 1 百万円減少し、673 億 2 千 3 百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加 11 億 4 千 1 百万円と電子記録債務の減少 23 億 2 百万円、支払手形及び買掛金の減少 5 億 8 千 3 百万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の 555 億 6 千 9 百万円に比べ 9 億 9 千 7 百万円減少し、545 億 7 千 1 百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少 6 億 5 千 1 百万円及び為替換算調整勘定の減少 2 億 9 千 5 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました、「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」に記載したとおり、2021 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の景気回復の見通しは立たず、先行きは不透明な状況が続いております。海外においても新型コロナウイルス感染症が世界的な規模で拡大し各国の企業活動が大きく制約されており、世界経済に深刻な影響を及ぼしています。

このような状況下、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、需要の回復は遅れるものと見込んでおります。生産調整や経費節減に努めておりますが、売上高が大幅な減少となり、損失を計上する見込みとなりました。

なお、2021 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、通期連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,101	13,368
受取手形及び売掛金	39,284	29,872
たな卸資産	45,291	48,717
その他	1,790	2,317
貸倒引当金	△4,061	△3,857
流動資産合計	93,406	90,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,213	11,911
機械装置及び運搬具（純額）	3,654	3,471
土地	6,798	6,719
建設仮勘定	1,238	1,287
その他（純額）	1,237	1,184
有形固定資産合計	25,142	24,573
無形固定資産	467	466
投資その他の資産		
投資有価証券	2,349	2,312
破産更生債権等	2,491	2,490
繰延税金資産	3,023	3,119
その他	969	968
貸倒引当金	△2,456	△2,455
投資その他の資産合計	6,376	6,435
固定資産合計	31,987	31,475
資産合計	125,393	121,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,201	6,618
電子記録債務	13,902	11,599
短期借入金	9,364	9,674
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	8,353	8,610
未払法人税等	179	81
賞与引当金	567	234
製品保証引当金	1,125	962
その他	2,586	2,012
流動負債合計	43,806	40,317
固定負債		
社債	4,136	3,946
長期借入金	20,622	21,763
退職給付に係る負債	697	669
その他	562	626
固定負債合計	26,018	27,005
負債合計	69,824	67,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	43,539	42,888
自己株式	△38	△38
株主資本合計	53,546	52,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	15
為替換算調整勘定	1,126	831
退職給付に係る調整累計額	△118	△111
その他の包括利益累計額合計	1,010	735
非支配株主持分	1,012	941
純資産合計	55,569	54,571
負債純資産合計	125,393	121,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,039	11,566
売上原価	15,343	10,247
売上総利益	2,695	1,318
販売費及び一般管理費	2,303	2,028
営業利益又は営業損失(△)	392	△710
営業外収益		
受取利息	3	3
割賦販売受取利息	39	23
受取配当金	44	11
持分法による投資利益	14	—
貸倒引当金戻入額	52	188
製品保証引当金戻入額	—	162
その他	99	50
営業外収益合計	254	439
営業外費用		
支払利息	55	55
持分法による投資損失	—	53
為替差損	190	145
その他	38	20
営業外費用合計	284	274
経常利益又は経常損失(△)	361	△544
特別損失		
工場移転費用	120	—
特別損失合計	120	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	240	△544
法人税、住民税及び事業税	184	94
法人税等調整額	△35	△114
法人税等合計	148	△20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92	△524
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	53	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	39	△475

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92	△524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	12
為替換算調整勘定	△572	△318
退職給付に係る調整額	5	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△582	△297
四半期包括利益	△489	△822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△556	△750
非支配株主に係る四半期包括利益	66	△71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響及び収束時期等につきましては、不確実な要素が多く、現時点において予測することは困難であります。新型コロナウイルス感染症の影響はしばらく続くものの、当第2四半期以降、通常の事業活動が再開し始めるとともに、その後、徐々に売上が回復していくものと仮定しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	13,889	3,189	960	18,039	—	18,039
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,055	3	1	1,060	△1,060	—
計	14,945	3,192	962	19,100	△1,060	18,039
セグメント利益又は損失(△)	△261	682	△168	252	139	392

(注) 1 タイ、イタリア、オランダを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去81百万円及びセグメント間未実現利益消去57百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	9,288	1,690	586	11,566	—	11,566
セグメント間の 内部売上高又は振替高	554	1	42	598	△598	—
計	9,843	1,692	628	12,164	△598	11,566
セグメント利益又は損失(△)	△859	231	△116	△744	34	△710

(注) 1 タイ、イタリア、オランダ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去58百万円及びセグメント間未実現利益消去△24百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。